

どれだけ伝わってるかな？お子さんへの伝え方



お子さんにしてほしいことや予定などを伝えるとき、どのようにお伝えしていますか？

「〇〇して」「今から〇〇行くよ」と言葉で、お伝えすることが多いと思います。その方法でしっかり伝わるなら良いですが、お子さんが他に集中して聞いていなかったり、機嫌よく出かけたのに、到着した途端泣きだして、実際は行き先を勘違いしていたり、よく分かっていなかったりする場合があります。お子さんにスムーズに伝わるためのちょっとしたコツをお伝えしたいと思います。

人は五感から様々な情報を得ており、8割以上、視覚から情報を得ています。なので、お子さんへの声かけと同時に、今からしてほしいことや行き先のヒントになる「もの」を見せて伝えましょう。

例えば、手をこすり合わせるジェスチャーで「手を洗おう」、オムツを見せて「トイレ行くよ」、靴や車のキーを見せて「お出かけするよ」など。買い物ならば、お店のポイントカードも具体的で良いですね。あるお子さんはロゴが好きで、お店のロゴを見て、すぐに理解できたこともありました。

公園など、実物を見せることが難しい場合は、行き先の写真やパンフレット、今はインターネットで画像や動画があります。お子さんが好きな場所や物事であっても、口頭のみより「もの」を見せることで、お子さんの中でイメージがわきやすく、安心できると思います。

そして、お子さんの生活の中で、繰り返し行われていることや馴染み深いことから見せましょう。

「毎日の流れで分かっているから、大丈夫」と思うかもしれませんが、おじいちゃん・おばあちゃんの家や旅先など、ご自宅以外の場所で過ごす機会が全くないわけではありません。また、「いつもなら夕飯が先だけど、今日はお風呂が先」など変更があったりします。

スムーズに伝わり、お子さんが安心して過ごせるために、日頃から「見せて伝える」ようにしましょう。

(つばさ保育士：奥田)